

2009 年度 博士学位論文

パワー・シフトと戦争

東アジアにおける事例を用いた因果分析

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科

博士後期課程 国際関係学専攻

野口 和彦

目次

序章	1	
第1節	パワー・シフト理論の重要性とパズル	3
第2節	パワー・シフト理論の構築	5
第3節	パワー・シフト理論の検証	8
第4節	事例研究の意義	10
第5節	理論を検証するための5つの事例	15
第1章	戦争研究におけるパワー・シフトの重要性	25
第1節	パワー・シフト理論のロジックとパズル	25
第2節	本研究の意義と価値	35
第3節	リアリズムとパワー・シフト理論	39
第4節	パワー・シフト理論の発展性	47
第5節	政策的インプリケーション	53
第2章	パワー・シフト理論	73
第1節	パワーと戦争 2つのパターン	73
第2節	パワー・シフト理論の仮説	79
第3節	予防戦争と脆弱性の窓	87
第4節	機会主義的戦争と機会の窓	97
第5節	理論の検証方法	115
第3章	太平洋戦争	127
第1節	日米開戦への道	127
第2節	南部仏印進駐と対日石油禁輸	133
第3節	競合理論の問題 国際システムと国内政治	142
第4節	合理性と誤認 全能の幻想と陥穽	149
第5節	予防戦争としての太平洋戦争	157
第4章	朝鮮戦争と「米中戦争」	159
第1節	朝鮮戦争前のパワー・バランス	159
第2節	パワー・シフトと開戦決定プロセス	164
第3節	中国人民解放軍の介入	174
第4節	中国の参戦決定の分析	185
第5節	競合理論の問題 陰謀説と独断説	188

第5章 中ソ国境紛争	195
第1節 中ソ対立の悪化	195
第2節 中国の予防攻撃とソ連の反撃	198
第3節 システム・レベル分析 パワー・シフトと国境戦争	205
第4節 中ソ軍事衝突の根本原因	211
第5節 競合説明の問題 文化大革命と国内政治	214
第6章 パラセル諸島紛争	227
第1節 パラセル諸島紛争の重要性	227
第2節 パラセル諸島紛争への道 ヴェトナム戦争の終結と中国の攻勢	229
第3節 パワー・シフト、攻撃の優越と中国の軍事行動	236
第4節 反実仮想による検証	242
第5節 競合理論の問題 国内政治と対外政策	245
終章	251
第1節 パワー・シフト理論の妥当性	251
第2節 理論的インプリケーション	256
第3節 政策的インプリケーション	259
第4節 戦争原因研究と倫理	262
第5節 今後の研究課題	266
参考文献	271